

神奈川県立岩戸支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立岩戸支援学校における第3回学校運営協議会（3校合同開催）	
開催日時	令和6年11月12日（火）10時00分～11時30分	
開催場所	神奈川県立岩戸支援学校 会議室	
出席者	神奈川県立岩戸支援学校 学校運営協議会委員 8名 神奈川県立武山支援学校 学校運営協議会委員 8名 横須賀市立養護学校 学校運営委員会委員 4名	
次回開催予定日	令和7年2月18日（火）	
問い合わせ先	神奈川県立岩戸支援学校 副校長 鈴木 香子 Fax 046-849-3200 電話 046-839-4502	
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由
審議・会議経過	1 挨拶（佐藤 雅己 武山支援学校 学校運営協議会会長） ・昨年度の記録を基に、各校で3本の柱（①医療的ケア児の通学支援等②横須賀・三浦地区の支援教育③支援学校高等部卒業後の就労支援）の取り組みが行われている。協議会を通じて、議論を深めていただきたい。 2 昨年度の協議内容の成果報告 （市立養護）通学支援について。令和5年度より登下校時に看護師同乗での医療ケア車両の運行を利用回数の枠を設けて、始めている。 （岩戸支援）支援教育について。地域（町内会、岩戸中学校、岩戸小学校）との連携が深まっている。センター的機能では、県立高校からの巡回相談の依頼が増えている。「地域で生きる」ことの意識やつながりの弱さなどが課題。 （武山支援）進路支援について。農福連携や水福連携の取り組みや、合理的配慮の調整についての取り組みを行っている。地域交流のプロジェクト TMAPを活用した地域の農園との連携などについての実践報告。 3 各機関からの報告・話題提供 ・神奈川県 障害福祉業界を学ぶ「しごと体験プログラム」についての紹介。 4 分科会 ・3つのグループ（A:PTA関係、B:進路先・就学前施設、C:校長・会長・大学・町内会）に分かれて協議を行い、全体共有を行った。 （Aグループ）①PTAのなり手不足について②3校が合同でできる取り組みについて③市内の移動支援事業の課題について （Bグループ）①卒後の進路先について②企業の取り組み③職場の人間関係④保護者を巻き込んでサポートしていく体制について （Cグループ）①特別支援学校へのニーズの高まりについて②インクルーシブ教育推進実践校の取り組みについて③特別支援学校の児童生徒が地域の中で生活するための取り組みについて 5 講評（横倉 久 岩戸支援学校 学校運営協議会会長） ・今回は、エリアネットワークとスクールクラスターの視点からの協議となっていて、有意義であった。	